

令和 4 年度 法人本部 事業報告書

社会福祉法人杉の子会

1 施設整備事業

杉の子保育園 乳児室改修工事（新晃工務店）行いました。

2 寄附金

杉の子友の会より	500,000 円
太陽の子友の会より	500,000 円
けま友の会より	500,000 円
さんぽ友の会より	500,000 円

3 会議

理事会	5 回
評議員会	1 回
監事会	1 回

4 その他

機関誌「ふたば」を 6 月発行しました。

パンフ「ひとりの声からみんなの明日へ」作成しました。

2022年度 杉の子保育園 事業報告

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計	一時保育	延長保育	
(定員数)	15名	15名	15名	15名	24名		84名		実人数	延べ人数
4月	4	13	13	17	15	15	77	1	22	191
5月	5	13	13	17	15	15	78	4	25	189
6月	5	13	13	17	15	15	78	7	25	211
7月	6	13	13	17	15	15	79	23	30	219
8月	6	13	13	17	15	15	79	13	25	190
9月	7	13	13	18	15	15	81	7	29	252
10月	7	13	13	18	15	15	81	3	27	268
11月	8	13	13	18	15	15	82	6	26	261
12月	8	13	13	18	15	15	82	9	33	265
1月	9	13	13	18	15	15	83	5	29	242
2月	9	13	13	18	15	15	83	11	28	251
3月	10	13	13	18	15	15	84	10	31	313
合計	84	156	156	211	180	180	967	99	330	2852

職員体制(3月末状況)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	給食室	
	10人	13人	13人	18人	15人	15人	84人 計	
常勤	2	2	2	2	2	1	11	2
非正規7	1	1					2	
非正規6	1						1	
非正規4			1			1	2	1
延長4	1						1	

園長 1 主任 1

補助(5) 1

事務(3.5) 1

実施行事

月	実施内容
4月	1日(金)入園・進級式 19日(火)誕生会 26日(水)避難訓練 27日(水)0・1歳児参観懇談
5月	2日(月)避難訓練 17日(火)誕生会 19日(木)4歳ワークショップ 20日(金)小児科健診 24日(火)5歳ワークショップ 25日(水)お弁当日
6月	1日(水)避難訓練 1日～4日(土)5歳個人懇談 9日(木)歯科検診 13日(月)・15日(水)4歳懇談会 14日(火)・16日(木)3歳懇談会 24日(金)眼科健診 27日(月)耳鼻科健診 30日(木)4・5歳星空保育
7月	1日(金)避難訓練 2日(土)2歳クラス懇談会 4日(月)プール開き 8日(金)平和行進 13日(水)誕生会 20日(水)～21日(木)5歳海合宿 23日(土)1年生お里帰り 26日(火)5歳ワークショップ
8月	13日(土)避難訓練 29日(月)誕生会 30日(火)～31日(水)9月2日(金)3歳児～5歳児プール参観
9月	1日(木)避難訓練 2日(金)夏まつり 6日(火)4歳児ワークショップ 7日(木)プールじまい 8日(金)誕生会 14日(水)5歳懇談会 15日(木)～24日(土)3・4歳児個人懇談 28日(木)弁当日
10月	3日(月)避難訓練 22日(土)運動会 26日(水)誕生会 27日(木)年長交流(けまにて)
11月	1日(火)避難訓練 4日(金)弁当日 8日(火)5歳児ワークショップ 9日(水)誕生会 15日(火)5歳児ワークショップ 16日(水)0歳児懇談会 17日(木)1歳児クラス懇談会・浜つばめと交流 18日(金)2歳児クラス懇談会 22日(金)4歳ワークショップ 30日(水)小児科健診
12月	1日(木)避難訓練 6日(水)若駒鑑賞(乳児)7日(水)ハープ鑑賞(幼児) 14日(水)誕生会 15日(木)お楽しみ会 21日(水)4・5歳児雪遊び(六甲山)
1月	12日(木)お楽しみ会(けん玉・こままわし) 17日(火)避難訓練 18日(水)誕生会 19日(木)4歳児ワークショップ 24日(火)5歳児ワークショップ
2月	1日(水)避難訓練 10日(金)5歳懇談会 21日(火)1歳児懇談会 22日(水)0歳児懇談会 (0歳児室改装工事 第三者評価受診)
3月	1日(水)避難訓練 11日(土)卒園と成長を祝う会 14日(火)移動動物園 15日(水)大きくなったね会 16日(木)3歳懇談会 17日(金)5歳児ワークショップ・4歳懇談会 20日(月)誕生会 22日(水)お弁当日。4・5歳遠足(神戸動物王国) 24日(金)中学入学おめでとう会

（保育実践）

- ・コロナ感染症が収束していない状況で、感染者も後を絶たない状況がみられ濃厚接触者の特定が保育園に委ねられるという状況にもなり対策を取りながらの保育が進められました。
蜜を避け食事は、1テーブル対面の場合は、パーテーションを設置する。
幼児は時差を付ける。子どもたちは夏までは、マスクを着用しましたが熱中症対策もあり戸外は外しました。
乳児幼児の交流はほとんど出来ない状況で誕生会も年内は、別々に実施しました。
冬頃より保護者会の取り組みも実施してきました。
- ・幼児クラスは、運動会以降縦割り保育を実施。1月以降クラス保育に戻した際、生活部分は、縦割りを引き続き実施することでホールでの子どもたちの関係が、年齢を超えて遊び合う姿が普通になってきました
- ・運動会は、0・1歳児は、ホールで運動遊びの姿を0・1歳児の保護者に観覧してもらい、2歳児以上は杭瀬小にて運動会を実施。(0,1歳児の保護者にも観覧してもらいました。) い家庭2名までの制限は設けましたが、保護者参加競技(父母の会が計画し、おりづるつくり競争)も実施しました。
- ・年長交流は、海合宿:法人3園毎のバスで福井阿納海岸に1泊2日で行き海・キャンプファイヤー等交流
10月にけま太陽の子にて芋ほり交流を行いました。小田地区内では、浜つばめとL字団地公園で交流しました。
- ・雪遊びは、各園ごとに4・5歳児が、六甲山スノーパークに行きました。直近で嘔吐で欠席者が多くなり
年長でいけない子も居たので、3月にお別れ遠足として4・5歳児で「神戸動物大国」に行きました。
- ・1・17に杭瀬小学校に行く予定でしたが、当日不審メールが届き園外に出るのは安全を考え辞退しました。
- ・IPPOのナビゲーターに来ていただいたワークショップは4歳児4回。5歳児5回実施しました。
- ・卒園と成長を祝う会は、0・1歳児は、本園2階で、クラス毎の入れ替えにして実施。
2歳児以上は、ホールにて2クラスづつの入れ替えで実施。卒園児を4歳児親子でお祝いで良かったです。
終了後、卒園児保護者と交流会をすることもできました。
- ・配慮の必要な児童については、発達相談員(古川先生)の巡回相談や学習会で学び、意思統一してきました。
- ・給食室職員と保育士が、毎月計画を立て「食育」の取り組みを実施してきました。

（第三者評価を受審。）

改善を求められる点として以下のご意見をいただきました。(評価結果は、公表されています。)

「法人と力を合わせ、施設や職員体制など環境や書類は整備され、園の運営に大切な土台を構築しています。法人と園の連携を活かして、今後は法人と園の役割を明確にし、園としての運営課題を客観視することへのいっそうの努力を期待します。整備した書類やマニュアル、各種計画などの具体的活用において、職員全体が、それらの目的や必要性について深く理解し共有し、次への発展へ繋ぐ組織づくりを望みます。」

(子育て支援)

- ・あそぼう会は、火曜日は、保育士が常駐して。水・木は、フリースペースにしての取り組みをしてきました。JR尼崎南のマンションにビラをまいたりしてきたが、増えません。見学者にもお知らせをして来られましたが継続して来てくれるのが課題です。また、出向いていくこともしようと話し合っています。
- ・見学は、1昨年より増えています。1才児希望が多いです。
- ・保護者同士の関係づくりでは、懇談会を14時～15時。土曜日午前。夕方にと様々な時間で取り組んできました。年度初めは2日に分けて等密にならないようにとも配慮したり、乳児クラスでは、参観を実施し、冬にはコドモンへの動画配信もして日常の保育を伝えてきました。ホームページを刷新しInstagramを始め、日常を発信しています。
- ・支援の必要な家庭については、子ども相談支援員さん・保健士さんと連絡を取りながら進めています。
- ・11月小田子どもフェスタは、地域の学童の先生・保育士さん5団体の参加で 楽しむ子どもたち～大人の笑顔がたくさんありました。つながることの大事さを改めて感じた1日でした。

(研修)

- ・法人内で研修チーム(4チーム)を設けて交流・学習をしてきました。
 - ①地域と子育て(キャリアアップのテキスト本を教材に。合研子育て講座を受講)
 - ②職場改善(他園への見学をし各園で見直しを検討)
 - ③企画(平和について)
 - ④保育実践(みんなのねがい誌を使用。発達・療育について古川先生の学習会。実践記録の交流)
- ・IPPOの総会で「子どもの権利条約を知る」を(オンラインと対面のハイブリットで)学習交流しました。
- ・普通救命講習を実施しました。
- ・園外研修として
 - 4・5月保育セミナーに参加(オンライン)。7月:兵庫の保育を考える集会は、会場とオンラインで参加。
 - 8月:全国合研(オンライン)参加。全障研大会が兵庫で開催されオンラインで参加。
- ・キャリアアップ研修は、おのおの受講しました。
- ・法人園会研修は、昼間にオンラインで実施のため複数で受講できました。
- ・たじかの園からの研修(オンライン)も受講しました
- ・学校の先生との研修会にも参加しました。

2022年度

太陽の子保育園事業報告

① 園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計	一時保育	延長保育	障害児保育
										補助対象
4月	7	13	14	14	16	15	79	0	60	5
5月	7	13	14	14	16	15	79	0	77	5
6月	7	13	14	14	16	15	79	2	79	5
7月	7	13	14	14	16	15	79	2	69	5
8月	7	13	14	14	16	15	79	0	46	5
9月	8	13	14	14	16	15	80	16	65	5
10月	8	13	14	14	16	15	80	14	45	5
11月	8	13	14	14	16	15	80	16	78	5
12月	10	13	14	14	16	15	82	20	42	5
1月	10	13	14	14	16	15	82	12	44	5
2月	10	13	14	14	16	15	82	14	40	5
3月	10	13	14	14	16	15	82	18	50	5
合計	99	156	168	168	192	180	963	114	695	60

② 職員数 (3月末状況)

クラス	園児数	常勤	パート			
			7 h	4 h	3 h	1. 5 h
0歳児	10	2	2			
1歳児	13	3				
2歳児	14	1	1	1		
3歳児	14	2				
4歳児	16	1	1			
5歳児	15	1		1		
給食室		1	1	1		
延長保育						1
用務					1	
事務				1		
主任		1				
園長		1				

③ 実施行事

月	毎月実施（お弁当デー 身体測定 避難訓練 お誕生会）
4月	入園進級式 中学入学おめでとう会 全体懇談会をコドモンで配信
5月	5歳クラス懇談会 2歳クラス懇談会 友の会総会 5歳ワークショップ 眼科健診 歯科検診
6月	4歳ワークショップ 3歳クラス懇談会 創立記念日 耳鼻科健診 小児科健診 4～5歳児星空保育
7月	プール開き 2歳保育参観 5歳ワークショップ 平和行進 1歳保育参観 0歳保育参観 5歳海合宿 お里帰り保育
8月	太陽の子まつり
9月	プール参観 学習会「就学迄に着けたい力」 4歳ワークショップ 4歳個人懇談
10月	3歳クラス懇談会 2歳クラス懇談会 1歳クラス懇談会 運動会 0歳クラス懇談会 5歳個人懇談
11月	5歳ワークショップ 小児科健診 5歳ワークショップ 年長交流 4歳ワークショップ 平和のつどい（ハープ演奏） 2階手洗い場増設工事 給食室床工事
12月	星のつどい（人形劇鑑賞） 年長交流 交通安全教室 4～5歳雪あそび 園庭トイレ工事 第三者評価保護者アンケート
1月	4歳児交流 5歳ワークショップ わらべうた遊び（講師にきてもらって） 大道芸鑑賞 4歳ワークショップ
2月	5歳クラス懇談会 第三者評価受審
3月	0～4歳クラス懇談会 卒園と成長を祝う会 お別れ遠足 ミニフェスタ

④ 保育実践

新型コロナウイルス感染がまだまだ治まらない中で、模索しながら実践をした1年でした。とにかくその時々で対応を職員で相談しつつでしたが、それでもコロナ3年目ということもあり、少しは見通しも持てて来たように感じます。

食育委員会で、保育士と給食室で細やかに連携をとり計画的に食育の取り組みを行ってきました。給食室から子ども達に伝えてもらうことで、新鮮な経験になり食への興味も増しました。

海合宿は、福井県の阿納へいきました。事前の他園との交流はできなかったけれど、現地で出来る範囲での交流をし、ゆったりと自然の中ですごしてきました。

運動会は園田小学校で実施し、クラスごとでなく全園児で開催できました。幼児クラスの取り組みの姿を初めて目にする保護者が当然いたので「大きくなったらこんな風になるんですね」といった感想が沢山寄せられました。

準備や道具出しのお手伝いを保護者にお願いしたのも久しぶりでしたが、協力を得て和やかに行えました。そんな父母の姿も久しぶりで、若い職員には新しい発見でした。

年長クラスの、「銀河先生」のお当番はコロナ感染の合間をぬうようにして取り組みました。とくに少し支援の必要な児童は、年下のこどもとの関わりで自信がもてました。

また、乳児クラスの保育士が年長の子も達と関わることで共通認識がもて、年長の担当保育士へのアドバイスを繋がりしました。

他の活動についてもその時々でコロナ感染の様子を見ながら柔軟に考え、乳児幼児一緒の取り組みを実施してきました。いつも感染への不安と、保育の中で大切にしてきたこととのせめぎ合いでした。

「オールあまっこ」交流では、公立の園田保育所との交流ができました。手紙や動画のやりとりから始め、公園でミニ運動会や少し遠い公園に一緒に出掛けていき、同じ小学校に行く顔見知りをつくることができました。

また、園田小学校で、けま太陽の子と近隣の保育園、幼稚園との交流があり、入学への期待を膨らませることができました。1月には4歳児クラスが、けま太陽の子の4歳児と交流しました。

雪あそびは、六甲スノーパークへ4～5歳で行きました。昨年度は緊急事態宣言が出たので中止しましたが、今年は感染が広がる直前で行く事ができました。

保育の中での平和行進参加や、保護者も参加の平和のつどいも今年度は実施できました。様々な考え方の保護者がいる状況で困難さも感じますが、繰り返し伝えること、伝え方の工夫をすることで、理解を求めるしかない職員で確認しました。それでも多くの保護者の皆さんからは、好意的な感想が寄せられています。普通の何気ない毎日が大切なのだとまず感じてもらう事を大切にしたいです。

卒園と成長を祝う会は、屋内なので、2クラスずつの開催にしました。昨年は1クラスずつでしたが、今年は4歳児の保護者と一緒に卒園児へのお祝いができ寂しくありませんでした。

IPPOの講師に来てもらってのワークショップは、3歳児クラス1回、4歳児クラス4回、5歳児クラス5回取り組みました。毎回子ども達は期待して迎え、後日繰り返して遊ぶなど余韻を楽しんでいました。

コロナ禍に入ってから密を避けるため、保護者は送り迎え時に保育室への入室を制限していたので幼児クラスは、朝夕の準備を保育士が子どもと一緒にしていました。その毎日の積み重ねが生活力になり、3歳児クラス後半ではきちんと脱いだ服をたたむ、ロッカーに片付ける等ができるようになっていました。けがの功名のような1面です。

コロナ対応では、暑くなってからは、外に出かける時と3歳児は室内でもマスクを外して過ごしました。（マスク着用を希望される場合は別）

幼児クラスの食事のパーティションの大きさを見直し、濃厚接触者判定を出さないようにしました。

乳児クラスは食事のテーブルにつく位置を毎日同じ所に決めて、陽性者が出ても濃厚接触者を最小に抑える工夫をしました。（発症前2日の食事の隣の児童との間隔が判断の基準になる）

⑤ 子育て支援

全体懇談会是对面を避け、コドモンで動画を配信し、家庭で見てもらえるようにしました。クラス懇談会は、午睡の時間や夕方30分早く開始して負担が減る工夫をしました。

保育参観は予定通り、乳児幼児とも実施できました。個人懇談を4～5歳児クラスで実施し、内容を保育士間で共有しました。

保護者対象に就学に向けての学習会を開催し、保育士も参加して大切にしたい事など保護者と認識を一致させることができました。

ホームページを新しくし、インスタグラムを発信し保育の様子を伝えています。保護者から毎回楽しみにしていますと感想が寄せられています。

あそぼう会

毎週 月曜（2歳～）と木曜（0～1歳）実施で、だいたい10人前後の参加があり、夏休みなど長期休みの時は幼稚園児が参加すると20人くらいになります。

感触あそび等は始めは苦手にしても、繰り返し遊ぶことで積極的な姿に変わっていきます。

また、IPPOのナビゲーターによるワークショップを取り組み、作品を大切に飾って楽しんでいますと報告がありました。後半は、久しぶりに公園でのミニ運動会やクッキングも始めることができお母さんたちに喜ばれています。

それまで保育園で在園児中心に、ミニフェスタを開催していましたが、夏以降は太陽の子まつりや西園田親子まつりを公園で開催しました。どちらも盛況で地域から求められていることを感じ、保護者ものびのびと関わり合っている姿が印象的でした。親子まつりは以前に比べると参加団体が減ったもののけま太陽の子、あぜくら作業所、さんば支援センター、虹の会、新婦人有志と協力して開催できました。

⑥ 第三者評価受審

2回目の受審なので、職員みんなで取り組んでいく事を大切に評価シートの検討などを行い、振り返りができたことはまず収穫になったのと、評価して頂いた点は職員の励みと自信になりました。

改善点としては

①中長期計画の策定を法人としてだけでなく、太陽の子保育園として数値目標や収支計画を伴った具体的な計画と実施状況がわかるようなしくみづくりの構築

②中長期計画とリンクさせながら福祉人材、人員体制、育成についても具体的な計画の策定と職員参画のもとに、職員自ら将来の姿を描くことができるような仕組みづくりへの取り組みを行う。

今後改善を求められた点を具体化していきます。

⑦ 研修

3園の研修委員を中心に学習に取り組んでいきました。

1) 実践交流

他園との実践記録の交流 みんなのねがい誌を使つての学習、全障研の講座 古川先生学習会

2) 職場改善

職員アンケートより環境改善の取り組み 他園（杉の子 けま太陽の子）への見学

3) 子育て支援

あそぼう会に来ている方へのアンケート テキスト本を使つて学習 合研「子育て講座受講」

あそぼう会だより裏面の記事作り

4) プロジェクト

ウクライナ侵攻をうけて世界の平和を巡る情勢について記事や文献を使つての学習

園外の研修 法人園会研修 兵保連セミナー 兵庫の保育を考える集会 阪神養護学校研修
全国保育団体合同研究集会 全障研 経営懇セミナー

2022 年度 けま太陽の子保育園 事業報告

① 児童数 一時保育利用者数 延長保育利用者数

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計	一時 延べ数	延長保育 実数 / 延べ数	
定員数	6	9	9	12	24		60			
4月	7	8	12	16	27		70	10	7	38
5月	7	8	12	16	27		70	7	9	47
6月	7	8	12	16	27		70	7	7	48
7月	8	8	12	16	27		70	8	9	37
8月	7	8	12	16	26		68	4	8	24
9月	7	8	12	16	26		68	20	11	42
10月	7	8	12	16	26		68	21	7	39
11月	7	8	12	16	26		68	21	8	48
12月	7	8	12	16	26		68	19	9	48
1月	8	9	12	16	27		72	20	11	43
2月	8	9	12	16	27		72	13	11	54
3月	8	9	12	16	27		72	26	16	67
合 計	94	27	144	192	319		776	176	113	535

② 職員体制（3月末状況）

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	園長/ 主任	給食	合計
正規	3	2	1	1	2	1	1 / 1	2	14
非正規 7 h	1		1	1					3
非正規 4 h	1	1	2						5
延長 3 h	1								1

補助（5 h）1 補助（3 h）1 調理補助（4 h）1

③ 実施行事

※毎月、お誕生会、避難訓練、お弁当日

4月	1日（金）進級・入園式、中学生の集い 6日（水）0才児懇談会 12日（火）～15日（金）さみだれ全体懇談会
5月	14日（土）1才児保育参加&懇談会、21日（土）2才児保育参加&懇談会、26日（木）眼科健診、 28日（土）3才児保育参加&懇談会
6月	4日（土）4才児保育参加&懇談会、9日（木）4才児WS、11日（土）5才児保育参加&懇談会、 15日（水）22日（水）耳鼻科健診、20日（月）小児科健診、23日（木）歯科健診、24日（土）星空保育
7月	5日（火）プール開き、8日（金）平和行進、14日（木）4才児WS、20日（水）21日（木）海合宿、 28日（木）保育体験
8月	30日（火）おもちゃライブラリー、平和のゆうべ
9月	9日（金）5才児WS 9月中旬より5才児個人懇談
10月	8日（土）うんどう会、13日（木）4才児WS、
11月	2日（水）小児科健診、11日（金）5才児WS、14日（月）2才児懇談会、15日（火）交通安全、 16日（水）4才児懇談会、18日（金）5才児WS、3才児懇談会、22日（火）年長交流、0才児懇談会、 24日（木）1才児懇談会、
12月	15日（木）雪あそび、30日～1月4日冬季休園
1月	10日（火）人形劇、12日（木）4才児WS、20日（金）3才児懇談会、
2月	6日（月）4才児懇談会、7日（火）1才児懇談会、8日（水）5才児懇談会、9日（木）0才児懇談会、 15日（水）2才児懇談会
3月	4日（土）卒園と成長を祝う会、8日（水）GPの会、14日（火）移動動物園、16日（木）3才児WS、 17日（金）5才児WS

④ 保育実践

- ・乳児保育では年齢ごとのクラス運営にとらわれずコーナー作りを充実することで落ち着いた保育環境を目指しました。棚の高さや絵本の置き方、子どもが出し入れしやすいおもちゃの配置など工夫し保育を展開してきました。横につながりだけでなく縦の繋がりを太らせていくきっかけにもなっていました。
- ・幼児保育では合研分科会での提案を通して「子どもの権利を大切にしていける保育とは？」子どもの意見をどう尊重し、反映しているのかその都度、問いなおしながら進めていきました。
- ・第三者評価を受診し、基礎的な保育の在り方を全職員で時間をかけて確認し、わかっているつもりになっているところや新たに見直したことを共有しました。

⑤ 子育て支援

- ・毎週火曜日に行っている地域開放日「あそぼう会」では参加してくれる親子が定着し後半期では0才児の参加が多くなったため、0才児だけの開放日や土曜日開催にもつなげていきました。

⑥ 研修

外部研修/ 兵保連春セミナー13名 秋セミナー7名 兵庫の保育を考える集会14名
全国合同保育研究集会14名 全障研プレ8名 全障研5名 福祉4団体7名
法人保育園会 5名 経営懇 3名

- ・対面での開催も増えつつもオンラインと併用しながらできるだけ多くの職員に参加してもらうことができました。
- ・全国合同保育研究集会では「5才児保育」の分科会にて実践報告を行い、子どもの権利と行事の在り方について議論され、園内でもその課題を持ち帰り保育士それぞれの思いや、価値観を共有することができ今後の行事の在り方を考える機会となりました。

内部研修/ I P P O主催研修 10名 法人内研修 12名

- ・第三者評価受診のため職員間で改めて法人理念と今の保育の現状を照らし合わせ論議を重ねることができました。今後は社会情勢を見通しながら組織としてどんな展望を持ち職員とともに、どう計画・実行へ移していくかなど次の課題が明確になりました。

2022 年度 さんぽ支援センター 事業報告

コロナの影響から取り戻していく一年

2022 年度はコロナの勢いが後半落ちてきて少しずつ元のサイクルに戻ってきた年でした。大きなパニック・クラスターはありませんでしたが、さんぽ支援センターの利用は主たる事業所のあとなどに利用するので、通所しているところでのコロナ発生が影響してきます。利用者やヘルパーはその時々でこちらにきちんと報告をしてくれて、対応していますので、持ち込まれることはありませんでした。事業所や他の保護者からのお知らせがあって把握できていきました。

移動支援や短期入所分野は落ち込みも少なくなり、今までの最高値を出した月もありました。

体制はヘルパー(経験者)も増えて安定しています。今後とも慎重に、かつ積極的に事業を展開していくことが大切だと思います。

1 実施事業について

***移動支援は** 利用者が 25 名となり、昨年から 2 名減りましたが、利用時間数は増えました。実績は以前と同じ割合でキャンセルは 1 割程度になっています。

おでかけの行先にも少しずついけるようになったことで利用者の楽しみも増えてきました。そんな楽しげな様子が記録にもあらわれています。コロナからお休みの方も復活するという状況です。

***居宅支援は** 新たに利用者が増え、慎重に見守りながら状況に応じて支援しています。お母さんをなくされた後というケースもあり、本人とご家族の思いや動きを尊重して取り組んでいます。信頼関係をきづくことの重要性が浮き彫りになりました。

***日中一時支援は** 定着している部分ですが、夏休みなど小中高生の対応が増えています。実施事業所が少ないこともあり、一度さんぽに来て過ごすことができると、保護者にとってはとても利用しやすい所と分かります。居場所としての見守りが伝わっているようです。利用者からの紹介もあり、今後、他の支援にもつながるよう期待しています。月 7 日(4 時間以内が 1/4 で一日は 4 単位)程度の利用があります。

***短期入所は** 2022 年度の利用日は増え、定員 4 人埋まることが少し増えてきました。保安の方も男性・女性に分かれて確保できていますが、もう少し余裕を持たせるため泊り・保安とも人数を増やしたいと考えています。

2 人材育成と研修

コロナ対策での様々な書類処理の指示、さんぼとしてマニュアルなどの見直しを進めています。投葉の紛失や転倒などのアクシデントもありましたが、設備面や配置、管理面での見直しをしてきました。虐待・コロナ対応など重要な書類が市からおりてきた部分はヘルパーに回覧という形で知らせました。大量の書類でしたが、その都度読んでもらい内容を確認していききました。

なかなか集まる機会が持てず、来年度は対面での会議も増やしていきます。

3 研修

全障研・IPPO 学習会に参加してきました。研修は全障研全国大会が兵庫でしたので積極的に参加しました。オンラインでの参加もできたので良かったです。全障研実行委員会からの呼びかけがあり、「かるたづくり」に参加しました。障害者の生活や考え方などからユーモアたっぷりの言葉が生まれ、それに合わせた絵札も書かれて楽しい取り組みでした。

IPPO 学習会は 保護者も参加を募り、一緒に学習をしました。人権・障害についての学習は保護者と一緒に聞くことでより深まると感じました。

3 保護者対応

*個別対応面談はしませんでした。書類でのやり取りになりました。問題を感じた保護者からはその都度、電話または面談での話し合いができました。

年度途中の申し込みについては 最初に 時間を取って面談をしました。

4 運営の改善

さんぼ支援センター会議を月 2 回定例で実施してきました。全体を見わたしての運営のポイントを出し合い支援の充実と開拓が図るよう努力してきました。

法人の SNS が一新して、インスタグラムもできるようになりました。さんぼもブログからインスタグラムへと軸足を変え、より多くの方々に知ってもらえるようになりました。さんぼだよりや各事業の様子を発信していき、充実させていきますってます。

5 他事業所とのかかわり・運動のかかわり

利用者はいろんな事業所にかかわっています。ケアマネージャーがたてる利用計画相談にもとずいて不十分な部分を検討して充実したものになるよう配慮しています。

運動とのかかわりは きょうされん・兵障協・全障研があります。今年は全障研全国大会が兵庫でありました。

きょうされんの全国署名や運動も協力参加しています。

各事業の利用者数・実績

移動支援	25	居宅	6	日中一時 7	短期入所 18
利用者	男性 14	家事 2	通院 1	男性 5	男性 12
	女性 11	身体 3	重度訪問 1	女性 2	女性 6
実績時間数	280 時間	80 時間		約 6 日間	16 泊 42 人
ヘルパー	14 人	7 人		3 人	9 人

2022 年の活動

毎月	コーディネート会議 支援センターだより発行	さんぽ職員会議 利用者だより発行	避難訓練
月	全 体	利用者・保護者	
4 月	尼崎市短期入所会議	毎月 キッチン 9 あり 個別懇談 個別支援計画の説明 書面に対応する	
5 月	短期入所担当支援員会議 ゴキブリ駆除		
6 月			
7 月	消防設備点検		
8 月	全障研参加		
9 月	尼崎市短期入所会議	さんぽフェスタ	
10 月	ヘルパー会議		
11 月			
12 月	尼崎市短期入所会議		
1 月			
2 月			
3 月	尼崎市短期入所会議		
		さんぽフェスタ 予約販売にて実施	